

平成 30 年 2 月 南田中図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 2 月 22 日 (木) 14 時 50 分から 15 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」) 管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 南田中図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「田」) 南田中図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) 図書館周辺の地盤沈下の修繕については、来年度の実施を考えている。まずは、正面入口横のブックポスト前から、段階的に修繕をしていく方向で調整する。</p> <p>(光) 利用者用および清掃員用のロッカーの転倒防止対策について → (田) L字型のクッション材の入った強力な粘着性のあるテープで固定した。 → (光) 粘着性のテープでは、耐震性が弱いと思うのでネジで留めるようお願いする。</p> <p>(光) 12 月にあった、中学生による BDS を使ったいたずらは何回もあるのか → (田) 何回かあったため、全員に厳しく注意したところ無くなった。 → (光) 学校がわかっているのであれば学校に情報を提供し、連携を取ると良い。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 一般事業費の執行率が低い。 → (田) 学校図書館のシステム通信料等、3 月末に年間使用料を支払うものがあるのでその影響。図書の装備も一般事業費で行うので、執行状況を見ながら必要な消耗品等を購入したいと考えている。</p> <p>③ 一般事業について</p> <p>(光) 12 月開催の「しめ飾りづくり」について → (田) 今回で 4 回目の開催。身近な日本文化と年中行事について知識を深める機会を提供しようと実施している。図書館職員が講師となって、本物のわらを使ってしめ飾りを作ったほか、関連資料としてリースや飾り付け、お米の本を展示した。毎年、石神井氷川台神社の宮司さんがゲストとして参加してくださり、解説をしていただいている。</p> <p>(光) 12 月開催の「暮らしの講座『図書館員と考える 整理収納講座』」について → (田) 収納アドバイザーの資格があり、実際に図書館で勤務している方を講師に招き、収納の変遷、収納の考え方や実践方法等について、初心者向けに講座を実施した。整理収納の関連本の紹介も行い、利用促進につながった。応用編として実務の講座もあるので、今後の実施も検討していく。</p> <p>(光) 1 月実施の「福みくじ」について → (田) 利用者と本の出会いのきっかけ作りとして、数年前から始めた事業で、おみくじ</p>

にお薦めの本やテーマが記してある。他館で実施している福袋と趣旨は同じで、福袋に代わる事業として定着している。新春企画として好評なため、今年は一般だけでなく、児童や青少年向けのおみくじも作成し、対象を拡大した。いつも自分の好きな棚にしか行かない利用者に新たな本との出会いを楽しんでもらえるよう考えたが、児童には請求記号を意識して本を探してもらうということも目的の一つとした。

(光) 1月開催の「新春落語会」について

→ (田) 会議室で落語会を開催した。図書館ホームページと館内掲示のみの広報だったが、定員以上の申し込みがあり好評だった。地域の方の落語会に来ていた若手の落語家の方に声を掛けて実現した。初めて落語を聞く方の参加もあり、気軽に落語を聞ける場を作れたことは良かった。今後も継続的に実施していきたい。

④ 児童サービス事業について

(光) 12月、1月の学校支援の状況は。

→ (田) 3学期に向けた準備として、学級文庫の団体貸出し、読書旬間で行うブックトークの準備を行ったほか、年末に南田中小学校では蔵書点検を行った。

(光) 家庭での読書推進向上に向けた考えについて

→ (田) 支援員がブックリスト等を作成・配布しているので、保護者の方にも見てもらう機会があると、読書への興味を持ってもらえると思う。また、南田中図書館では、児童・生徒が学校で作成した作品の展示を行っているので家族で図書館に来てもらうきっかけにもなっていると思う。

(光) 12月に南ヶ丘小学校の児童、約60名を仕事体験として受入れているが様子は。

→ (田) これほどの人数が同時に仕事体験をするのは初めて。児童たちは予想していたよりも図書館に様々な仕事があることに驚いていた。日頃より支援員から分類や図書館利用の説明を受けているため、作業の説明などの理解も早く、改めて日頃の支援の積み重ねが大切だと実感した。また、本を大切にすることや図書館のルールを守ることにしてもよく分かってくれた。1日体験図書館員のイベントにも興味を持った児童が多くいたようで、今後の図書館利用促進にもつながったと思う。

(光) 12月開催の「ワンダーおはなし会スペシャル」について

→ (田) 普段のおはなし会より15分拡大し、2回開催の予約制とした。今回は、ハーブを使った飾り作り、ハーブの説明、絵本の読み聞かせ、ブックトークと展示した本の紹介を行った。展示した本の多くが貸出しにつながっており、この事業からハーブや植物全般に興味を持ち、その学習のために図書館の利用が増えれば良いと考えている。

(光) 1月開催の「新春おはなし会」について

→ (田) ユースサポーターの中学生2名、高校生1名の実演による子供向けのおはなし会を実施した。参加した高校生は、11月に実施した高齢者施設への出張おはなし会にも参加した生徒。読み聞かせを行う絵本や手遊びなども図書館スタッフがサポートしながら自分たちで選んだ。聞いている子供たちの反応も直接分かり、メンバーも楽しんでできたようで、「またこのようなおはなし会に取り組みたい」と意欲を新たにしていた。